



ご家庭で手軽に洗濯ができるウォッシュャブルカーテン

## ウォッシュャブル

当社では、多くのウォッシュャブルカーテンを商品化し、お客様の家庭で洗濯したいというご要望にお応えしてきました。本見本帳では、一般社団法人日本インテリア協会(NIF)の基準に適合した商品にウォッシュャブルカーテンとして、機能性表示マークをつけて選びやすくしています。

NIFウォッシュャブルマーク判定基準(カーテン)

※2021年6月9日現在

試験項目	試験方法	判定基準
寸法変化率	JIS L 1930 C4M法(つり干し)による洗濯3回後の寸法変化率を測定する	タテ±1%以内 ヨコ±2%以内
洗濯堅牢度	JIS L 0844 A-2号に基づき試験評価する	変退色4級以上 汚染4級以上
外観	JIS L 1930 C4M法(つり干し)による洗濯3回後の外観を目視で判定する	外観が良好であること

NIF:一般社団法人日本インテリア協会 <http://www.nif.or.jp>  
ウォッシュャブルの基準は一般社団法人日本インテリア協会で制定されたものです。  
注:洗濯の仕方により表示以上の寸法変化が起こる場合があります。  
「洗濯に際してのご注意」をよくお読みいただきますようお願いいたします。

### ■ 洗濯に際してのご注意

- ・ホコリをよく払って、フックを全部取り外してください。
- ・予洗されることをお勧めします。
- ・一度にお洗濯するカーテンの枚数は1~2枚までとし、あまり多く詰め込むことは避けてください。
- ・洗濯用ネットのご使用をお勧めします。
- ・水量は「最大」にします。
- ・水流は「弱」にします。
- ・水温は40℃以下で行います。
- ・洗剤は市販の中性洗剤、または弱アルカリ洗剤をご使用ください。
- ・ご使用の洗剤に記載されている使用方法を参考にしてください。
- ・洗剤が残らないよう、充分にすすいでください。
- ・脱水は短時間(20~30秒)でおかけください。かけすぎるとシワや型くずれの原因となります。
- ・ドラム式洗濯機は浴比が小さくなるため、カーテンサイズや生地 の性質によってはシワが入りやすくなる場合があります。
- ・洗濯機の操作方法は取扱説明書をご確認ください。

### ■ 乾燥方法について

- ・カーテンを吊っていた元のレールに戻し、吊ってそのまま自然に乾燥させるのが最適な方法です。その際、水滴で濡れないよう、床にタオルや新聞紙を敷いてください。
- ・屋外で干す場合は必ず陰干しにしてください。
- ・レールに吊った後、全体を軽く下に引っ張り、寸法を合わせます。更に全面を手で叩くと、乾いた時にある程度シワを防止できます。
- ・乾燥機の使用は縮みの原因となりますので、お避けください。
- ・アジャスターフックをご利用の場合はフックで丈の調整が可能です。

### ■ 形態安定加工品について

- ・アイロン・スチーム・乾燥機の使用はウェーブ加工を損なうため禁止です。
- ・洗濯後、シワが目立つ場合はスチームなし、ごく低温のアイロンを手早くお掛けください。ただし、低温であっても一箇所に長くアイロンを掛けるなどすると、場合によってはウェーブ加工を損ないます。十分ご注意ください。

### ■ ウォッシュャブルカーテンの縫製について

- ・ウォッシュャブル機能をもつカーテン生地 の縫製には、ポリエステル製芯地および縫糸のご使用をお願いします。
- ・フリンジ、トリム、裏地、ウエイト等を縫いつける場合は、ウォッシュャブル機能が損なわれる場合があります。付属品の洗濯条件に充分注意してください。

### ■ 寸法変化率について

取扱い表示にあたり、下記の試験方法で寸法変化率の試験を実施しております。

判定基準値はいずれもタテ±1%、ヨコ±2% です。

記号	寸法変化率の試験方法	判定基準値
	JIS L 1930 C4M法 3回洗い	タテ±1% ヨコ±2%
	JIS L 1930 C4H法	
	JIS L 1931-3 F2法	

### ■ 取扱い表示の見方

JIS L 0001(繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法)より

洗 い 方		液温は、40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。
		液温は、40℃を限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。
		洗濯処理はできない。
漂 白		酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。
		漂白処理はできない。
乾 燥 (干し方)		洗濯処理後のタンブル乾燥処理はできない。
		日陰でのつり干し乾燥がよい。
アイ ロ ン の 掛 け 方		底面温度120℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。
		底面温度160℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。
		アイロン仕上げ処理はできない。
商 業 ク リー ニ ン グ		石油系溶剤(蒸留温度150℃~210℃、引火点38℃~)での弱いドライクリーニング処理ができる。
		ドライクリーニング処理はできない。
		弱いウェットクリーニング処理ができる。
		非常に弱いウェットクリーニング処理ができる。
		ウェットクリーニング処理はできない。